

## 平成13年度内分泌攪乱化学物質に係る環境実態調査結果の概要

媒体種類		水質	底質	大気	野生生物
測定数	地点数(延べ)	171	48	22	54(検体)
	物質数	20	20	3	21
検出物質数		13	12	1	19

調査物質名	水質	底質	大気	野生生物
ダイオキシン類	-	-	-	
ポリ塩化ビフェニール(PCB)			-	
ポリ臭化ビフェニール類(PBB)	×	×	-	-
ヘキサクロロベンゼン(HCB)	-	-	-	
ペンタクロロフェノール(PCP)	-	-	-	
ヘキサクロロシクロヘキサン	-	-	-	
クロルデン	-	-	-	
オキシクロルデン	-	-	-	
trans-ノナクロル	-	-	-	
DDT	-	-	-	
DDE及びDDD	-	-	-	
デイルドリン	-	-	-	×
ヘプタクロルエポキシサイド	-	-	-	
トリブチルスズ			×	
トリフェニルスズ			×	
トリフルラリン	-	-	-	×
アルキルフェノール(C5～C9)				
ビスフェノールA			-	
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル			-	
フタル酸ブチルベンジル			-	-
フタル酸ジ-n-ブチル			-	
フタル酸ジシクロヘキシル	×	×	-	-
フタル酸ジエチル		×	-	-
ベンゾ(a)ピレン	×		-	-
2,4-ジクロロフェノール		×	-	
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル			-	-
ベンゾフェノン			-	
4-ニトロトルエン			-	-
オクタクロロスチレン	×	×	-	-
フタル酸ジペンチル	×	×	-	-
フタル酸ジヘキシル	×	×	-	-
フタル酸ジプロピル	×	×	-	-

は検出された物質、×は未検出の物質、-は調査対象外物質を表す。